

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	IHいづみヶ島工場修理棟	階数	地上2階
建設地	埼玉県鶴ヶ島市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、準防火地域	平均居住人員	80人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,400時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2025年10月22日
敷地面積	19,055 m ²	作成者	梓設計
建築面積	7,620 m ²	確認日	2025年10月22日
延床面積	8,000 m ²	確認者	梓設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.7**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 2.9**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 2.9**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.4**

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.5**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 4.4**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 2.8**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.2**

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合 埼玉県鶴ヶ島市に計画された工場である。CASBEE埼玉県2016年度版による評価である。外観、色彩は既存周辺施設との調和に配慮した。工場内従事者の働く環境に配慮し、温湿度、内装材等の計画を行った。</p>		特になし
<p>Q1 室内環境 快適な作業環境に配慮し、適切な温湿度を確保するため必要空調・換気設備を計画した。内装に使用する仕上げ材、下地材については、揮発性有機化合物を発生しない素材選定に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能 機能的で清掃しやすい仕上げ、空間に配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 工場内従事者の安全に配慮し、動線については段差が少なく、滑りにくい素材とした。</p>
<p>LR1 エネルギー 屋根、壁の断熱を考慮した仕上げ、経済的な空調設備を計画。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 節水器具を使用し、水資源保護に配慮。</p>	<p>LR3 敷地外環境 執務エリアにはフラインドを設置し、室内からの光漏れによる光害に配慮。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
IHI 鶴ヶ島工場修理棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.7
Q1 室内環境					0.30		-		2.9
1 音環境				3.0	0.15		-		3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音				3.0	0.20		-		
2 温熱環境				3.0	0.35		-		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				2.8	0.25		-		2.8
3.1 昼光利用				3.0	0.30		-		
1 昼光率				3.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度				2.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25		-		
4 空気質環境				3.0	0.25		-		3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		2.9
1 機能性				2.8	0.40		-		2.8
1.1 機能性・使いやすさ				1.6	0.40		-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				3.6	0.30		-		
1 広さ感・景観		工場作業エリア内に休憩室、執務エリアに多目的室を計画		3.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				5.0	0.33		-		
3 内装計画				3.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		内装材は防汚、防カビに配慮、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.7	0.30		-		2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.2	0.20		-		
1 空調・換気設備				1.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				1.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.3	0.30		-		3.3
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30		-	-	
1	階高のゆとり	執務エリア東西コア1, 2階階高5m、生産エリア約14m(水下梁天)	5.0	0.60		-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		外窓にLow-eガラス、ルーバーの設置	5.0	0.20		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.47	5.0	0.50		-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	-	
4.1	モニタリング		-	-		-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	1.00		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1	モニタリング		-	-		-	-	
4.2	運用管理体制		-	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.20		-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60		-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		軽量鉄骨下地により躯体と仕上げ材を分離	4.0	0.22		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	-	
1	消火剤		-	-		-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率: 75%	4.0	0.33		-	-	4.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
3	交通負荷抑制	工場従事者、来客用の駐車場、および従事者用駐輪場を設置	4.0	0.25		-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1	騒音		3.0	0.50		-	-	
2	振動		-	-		-	-	
3	悪臭		3.0	0.50		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-		-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」チェックリストの項目の一部を満たしている。また広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	IHI鶴ヶ島工場修理棟	BEE	1.2	BEEランク	★★★
------	-------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.0	+	2.0	=	6.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
<配慮した内容を記述> 高効率な設備機器の導入により、CO2排出量を抑制している。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述> ・敷地外周部に緑地帯を設け、周辺環境に配慮している。 ・敷地内はゆとりのある配置計画としている。			

:入力欄